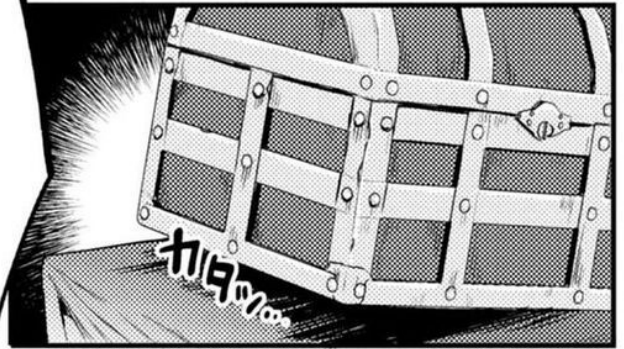
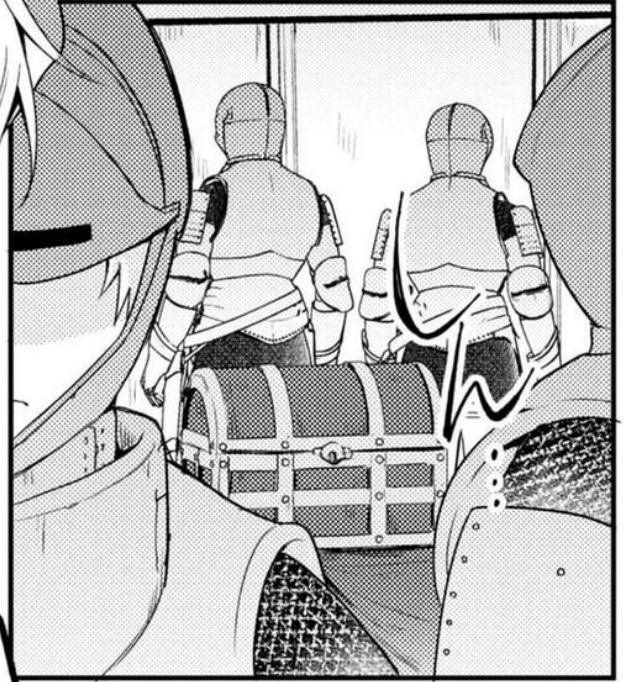


PARTY × FAMILY



あそこだ！
盗賊だ！！



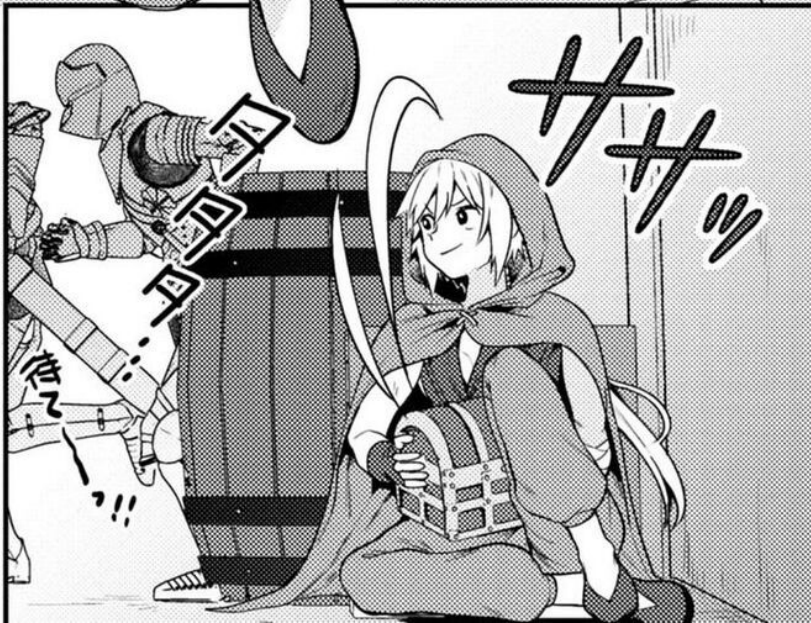
待^まてー!

はんつ
だれ
誰^{だれ}が待^まつん
だつての

パティ
PARTY
×
ファミリー
FAMILY

せんどうはち
仙道八

ま!!



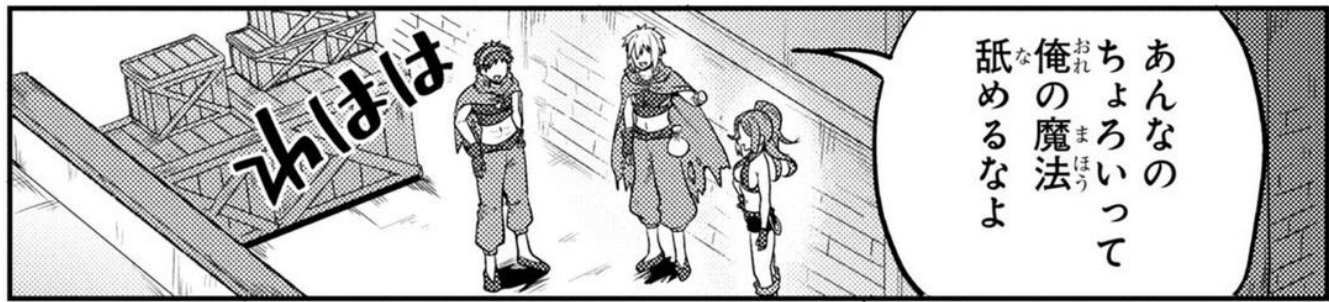


おっすがー

ガ

バ

やるな
クライド!



おはは

あんなの
ちよろいって
俺の魔法
舐めるなよ



てか俺が
言うのもなんだが
盗賊やってるとか
もったいないよな

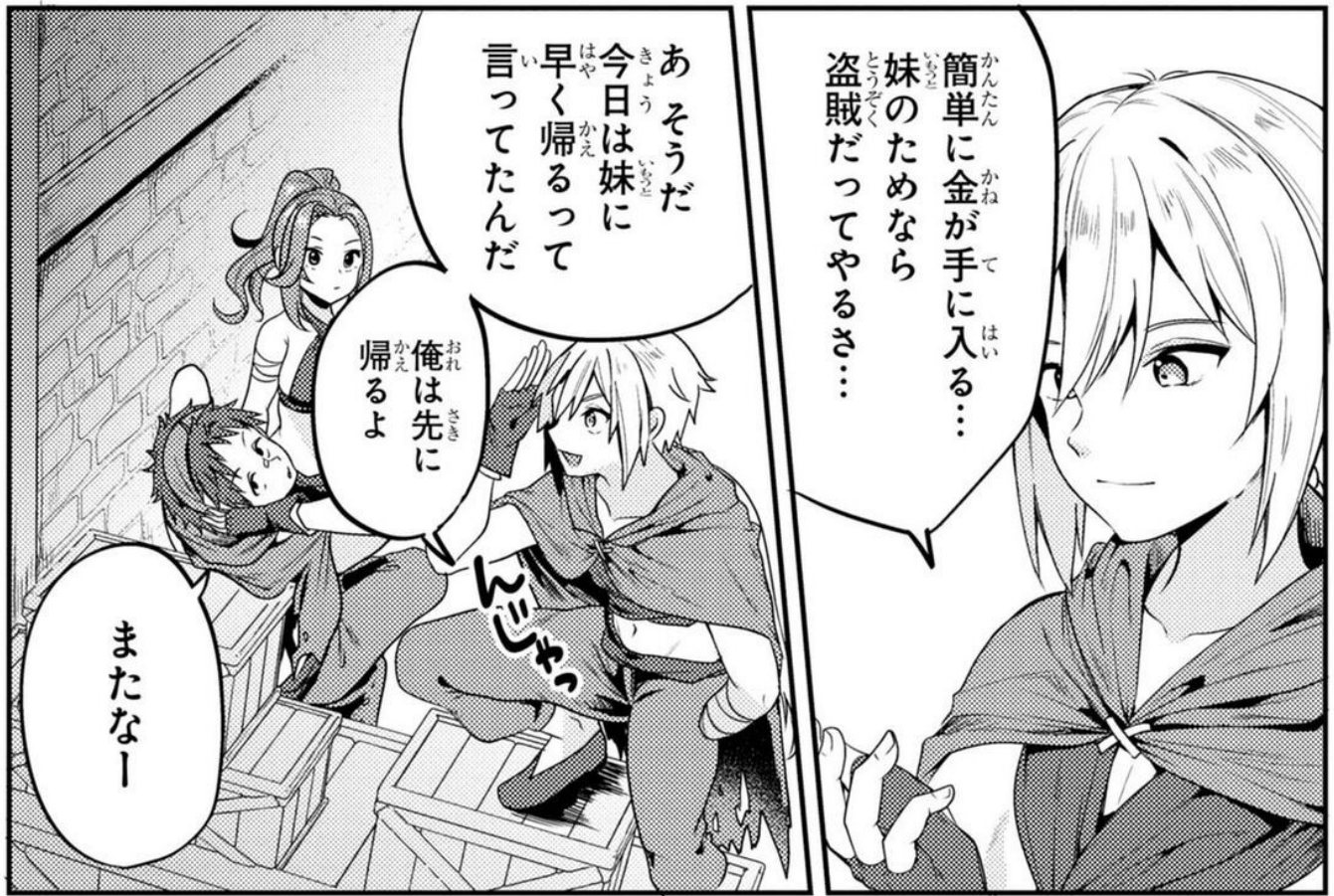
ん?

おっすがー



おう
サンキユ

じゃあ今回の分
山分けな



あそうだ
きょう
今日は妹に
はや
早く帰るって
い
言ってたんだ

簡単(かんたん)に金(かね)が手(て)に入る(はい)…
妹(いもうと)のためなら
盗賊(とうぞく)だってやるさ…

俺(おれ)は先(さき)に
かえ
帰るよ

またなー



はあ

あいつは
いいよなー



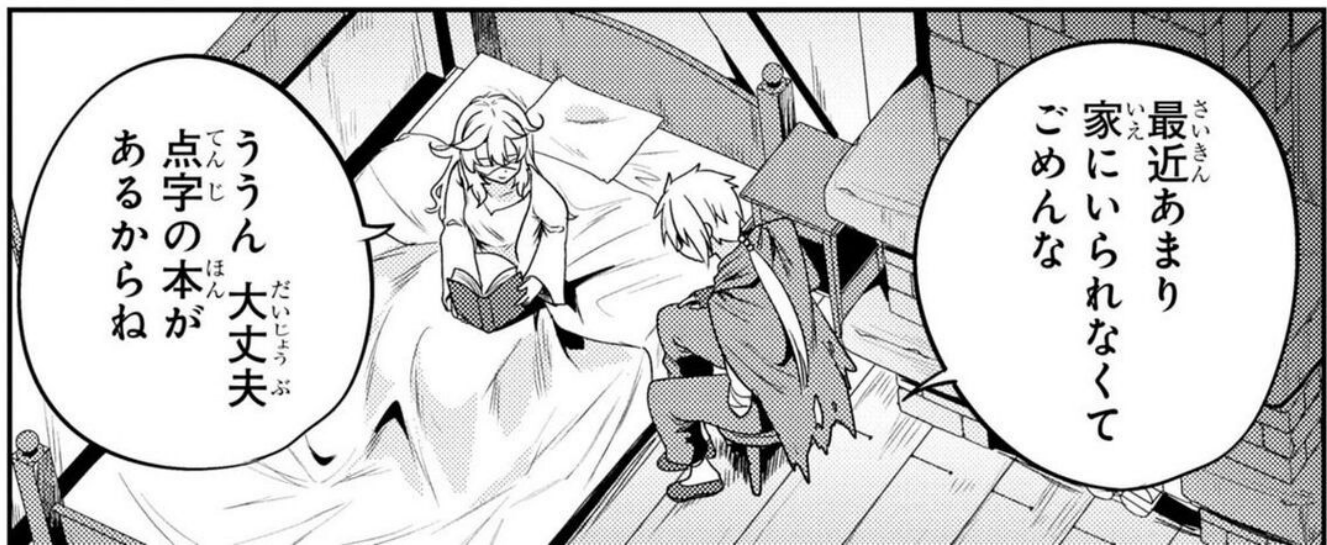
盗(ぬす)みしか
能(のう)のない俺(おれ)らとは
生(う)まれが違(ちが)うてさ



ただいまー

ガチャ

あお兄^{にい}ちゃん
おかえり



最近^{さいきん}あまり
家^{いえ}にいられなくて
ごめんな

ううん 大^{だい}丈^{じょう}夫^ぶ
点^{てん}字^じの本^{ほん}が
あるからね



ありがとう

サーレ
ほら後ろ向いて
ほうたいなお
包帯直してやる

——俺は目の見えない妹のため夢を捨てた



ある日両親は孤児の女の子を
招き入れ俺に妹ができた

家で留守番の多かった
俺を気にしてか



世のために働く両親を
誇らしく思っていた

子供の頃
退魔士をしていた
俺の両親は忙しく



両親は
妹に暴力を振った

近づきすぎるものなり

でも両親は
なぜか妹と俺を
近づかせなかった



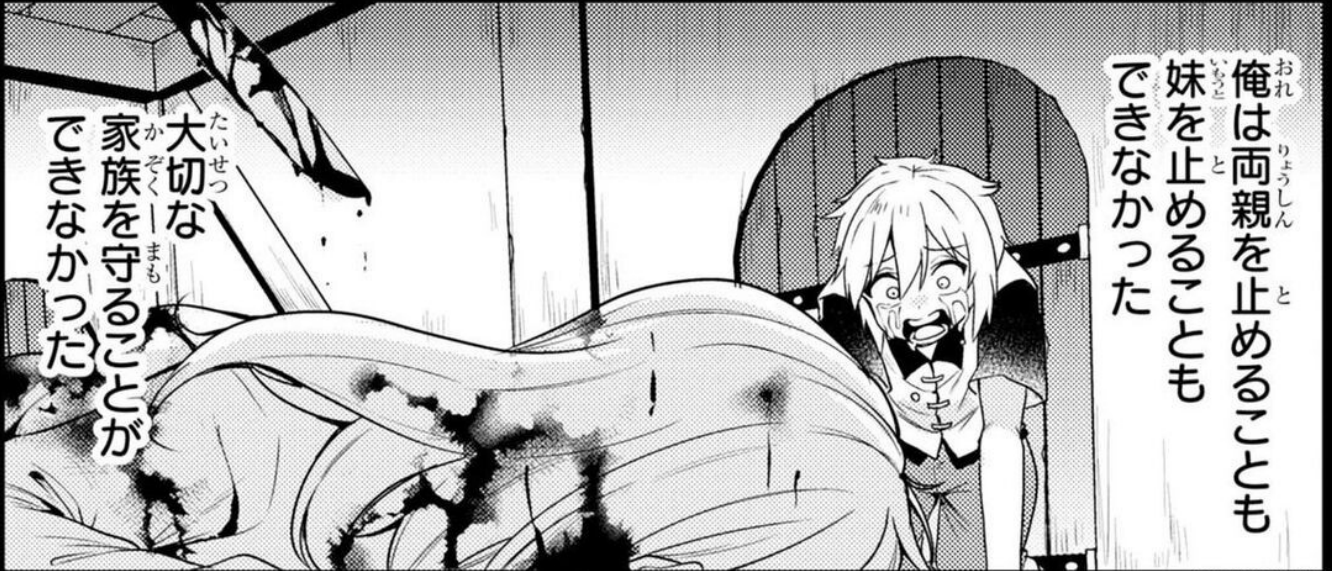
何も

その異常な状況を前に
俺は何もできなかつた



俺は両親を止めることも
妹を止めることも
できなかつた

大切な
家族を守ることも
できなかつた



せめて妹だけは
守りたい

俺は妹の罪を
かぶり



退魔の力
左手を断ち切る
罰を受け入れた

そして俺は
妹の目を治す薬を
手に入れるため

いちちゃん

お兄ちゃん

薬のため
とはいえ盗賊
やってるなんて
セリレには
言えない…

どうしたの？

すまんすまん
ボーっとしてた
よし
終わりっ！



あした おうこく
明日は王国の記念式典に
で
出かけるけど
早く帰ってくるからな

ともだち
友達がどうしても
ひほう
秘宝を盗み見たいって
いうからさー

10-10-10



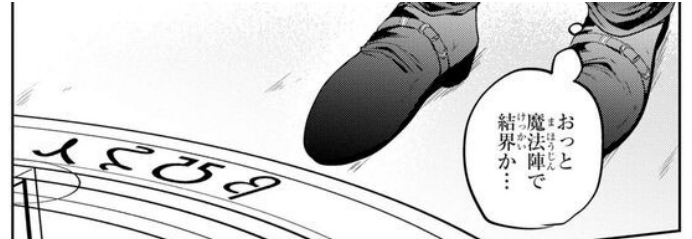




パーティ追放された俺が裏切った
仲間に復讐するアンソロジーコミック②



パーティ追放された俺が裏切った
仲間に復讐するアンソロジーコミック②



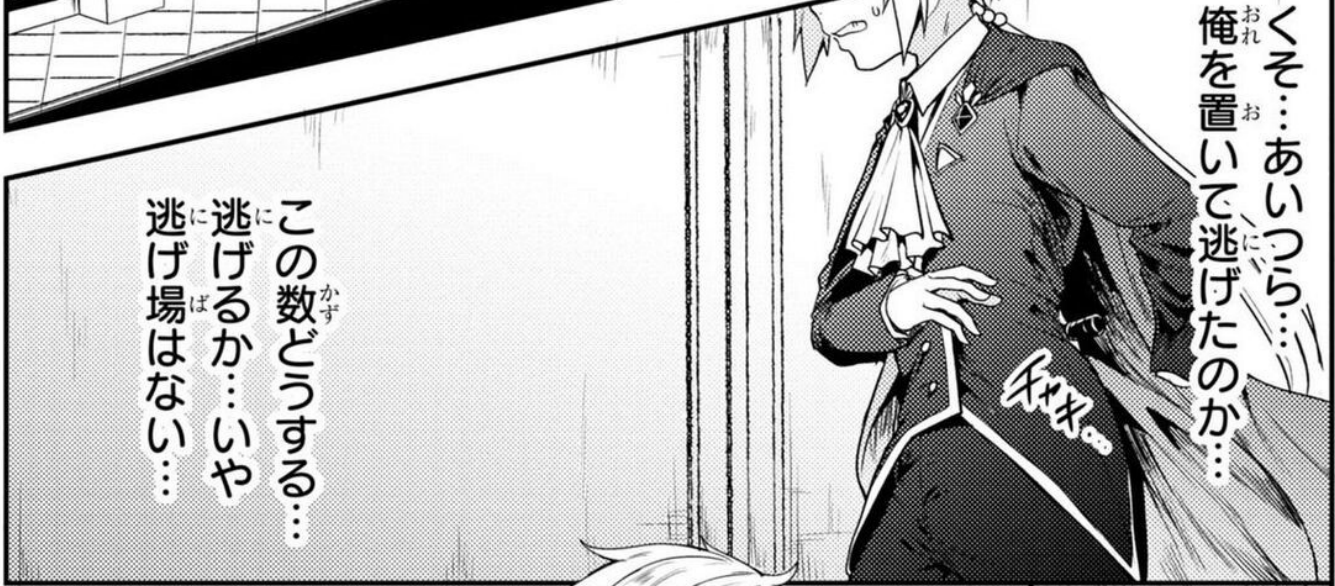


来い！
おい…来いって！



なんだ？
何言っている

なんでだ…
なんで来ない…っ



くそ…あいつら…
俺を置いて逃げたのか…

この数どうする…
逃げるか…いや
逃げ場はない…



うおおおおっ！

ちんこまぢねえ！



くっそおおお



おうこく
たから
ぬす
王国の宝を盗み
ほか
かずかず
もの
他にも数々の物を
ぬす
盗んできた



そして過去に
りょうしん
両親をナイフで
なんど
何度も刺し
ざんこく
残酷な殺し方をした



かこ
けん
過去の件も含め
ひこくにん
被告人の行いはとても
ゆる
許されるものでなく

さいはん
再犯をする
かのうせい
可能性も高い
そしてこの国の
へいわ
平和を脅かす
かのうせい
可能性がある



よって
ひこくにん
被告人を

死刑に
処する





魔法使えない
私たちを見下すように
魔法使いやがって…

腹いせに
あいつの妹
犯してやろうか

こっぴどい

ところでお前…
それいっお金に
するんだよ

クワイエットとさげさ…

だってあの時
警備兵に紛れて私が
初めて盗んだお宝…

もう少し眺めていたいし
それに

って話聞いてない!

はいはい
またその話ねー
次に行くぞー







あーあ
苦しんでる姿
見たかったのに

ぐしゃっ...



なんで...
なんで
ここにいろの



ああんた
捕まって死刑に
なったんじゃ...!



こんなあつさり
死ぬとか 本当
つまらない奴

クライド!

盗賊とうぞくなんだから
脱獄だつごくなんて
簡単かんたんなことだよ
それに――

俺おれの妹いもうとに手を
出だそうとする奴やつらを
生いかしておけるかよ



どう殺して
やろうか

…っ!?

残るは
あんだだ

本当に…
本当に悪かった…!

お願いします!
お願いします
殺さないで!
なんでもするから

ザッ



ほ ぼら
わたし
からだ
私の身体…
悪くないでしょ？

は

たはもんのこ

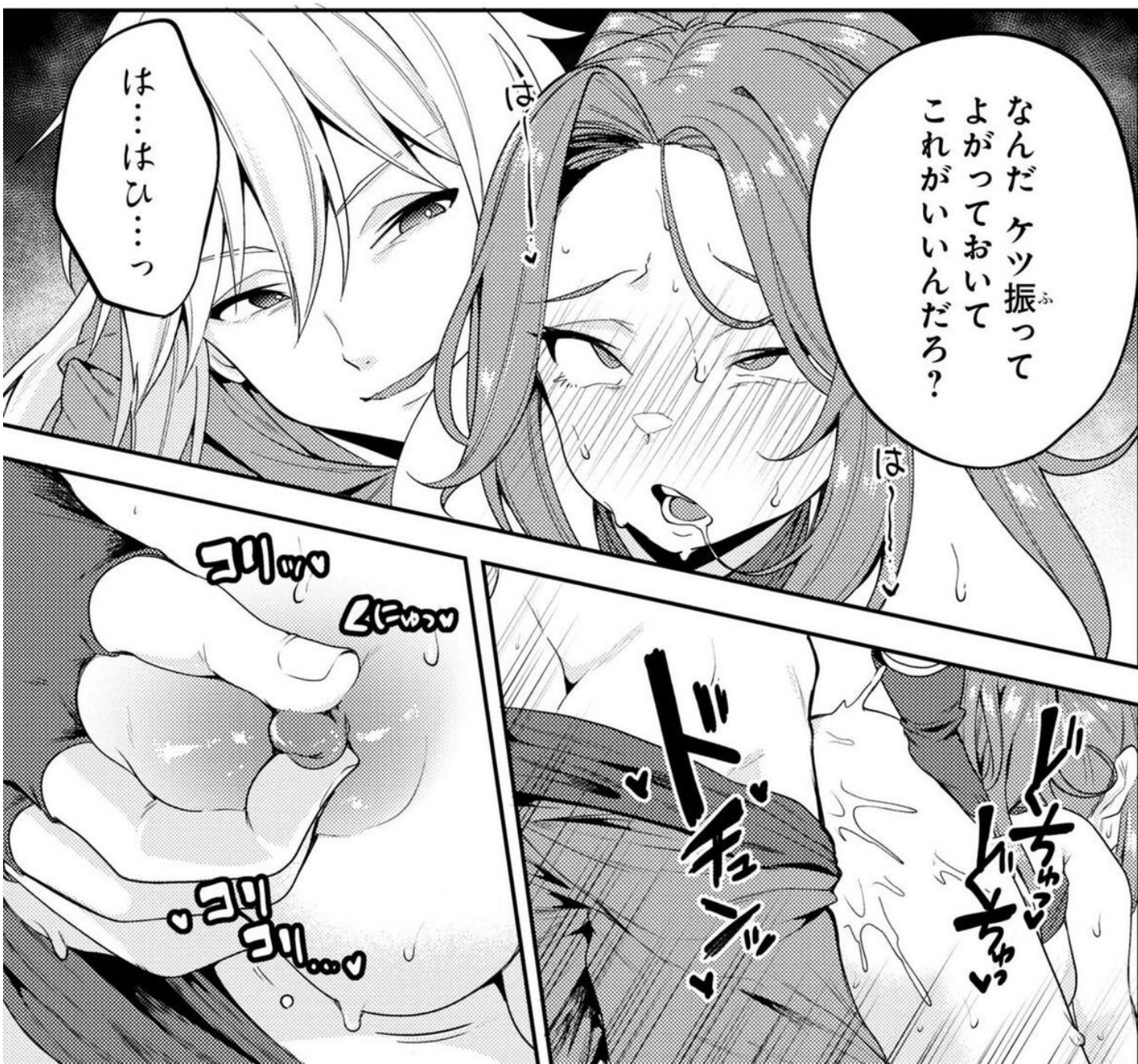


そんなに
これが欲しけりや

…プライドのない女だ
おんな



シてあげるから
私^{わたし}があなたの性^{せい}奴^ど隷^{れい}に
なつてあげるから
ね？ ね？



あっは♥
なじんて…
きたあ…♥

あつ…
いいよ
すごくいいっ♥

すこ
少しは黙れ
だま

たん
たん

だつてえ♥

あつ

あつ

あつ

あつ

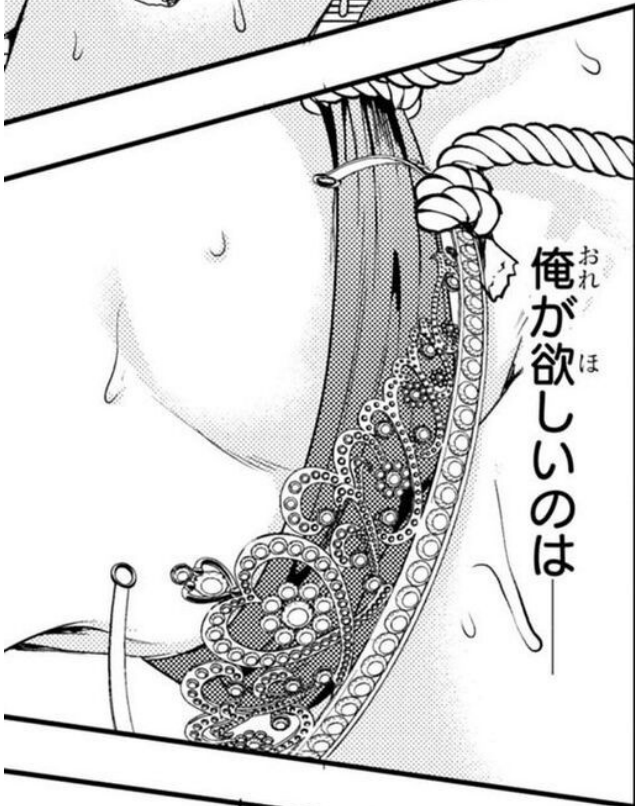
あつ

あつ





お前の感情なんか
興味ねえんだよ



俺が欲しいのは



あつやばっ
イク…イク…っ！



すごい私…こんな
気持ちいいの
久しぶりイ♡

とちゅっ♡

もつと…
もつとオ♡

とちゅっ♡

とちゅっ♡





これで
良かったんだ
これで...



ばーん

え...っ!?



ご苦労様
お兄ちゃん♡

■To be continued■



俺は盗賊団の仲間と一緒に盗みをしていた

やるな
クライド!

さっすがー

ガッ



死刑に
処する

俺は仲間に見捨てられた



警備が
甘いんだよなあ

その日は城の秘宝を盗み
抜け出そうとしていたが



こんなあつさり
死ぬとか本当
つまらない奴

脱獄した俺は
仲間だった奴らに
復讐を果たし

クライド!

城で盗んだ
秘宝に手を伸ばした
そのとき

+

ご苦勞様
お兄ちゃん♡

俺の妹
セーレが現れた

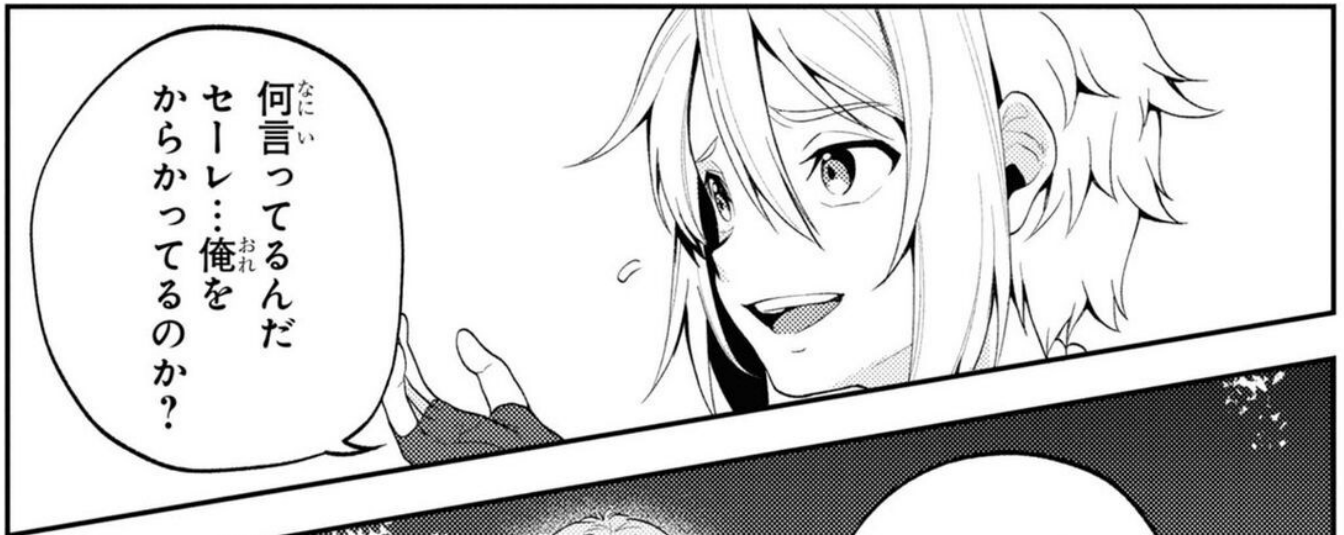
パーティ ファミリー
PARTY×FAMILY 後編
せん どう はち
仙道八

パーティ追放された俺が裏切った
仲間に復讐するアンソロジーコミック③



目^めが
見^みえないのこ...





何言^{なに}つて^いるんだ
セーレ^{おれ}…俺^{おれ}を
からか^かつて^るのか？



本^{ほん}気^きだ
私^{わたし}が^お前^{まえ}の^{りやうしん}両^{りやう}親^{しん}を
殺^{ころ}した^のを
忘^{わす}れた^のか？



あ^あれ^れは^は事^じ故^こだ^だ…！
お^お前^{まえ}が^が気^きに^に病^やむ
こ^こと^とは^はな^ない



あ^ああ^あい^いつ^つら^らを
殺^{ころ}して^て私^{わたし}は
せ^せい^いせ^いした^よ

そうか：
ひみつごと
秘密事をした俺に
怒おこってるんだな

ごめん
ほんとう
本当のことを
い
言う：

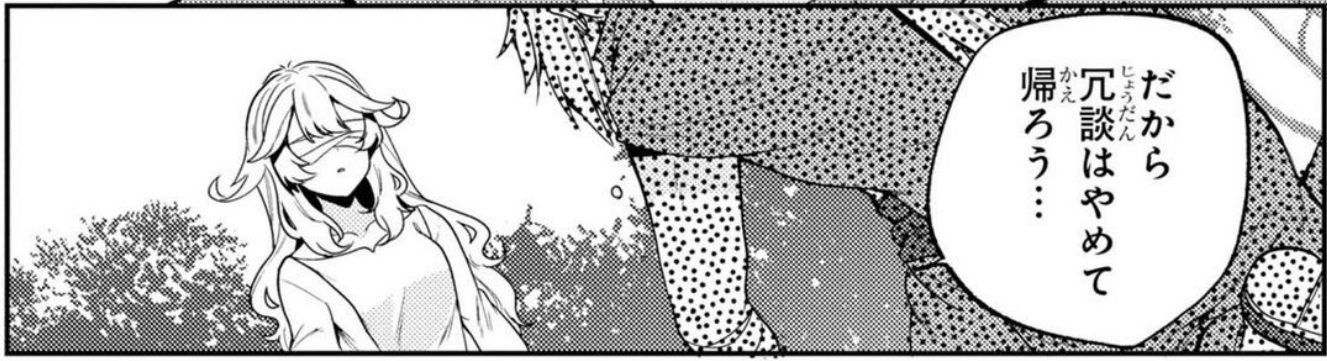
俺おれはセーレの眼めを
な
治なおしてやりたい
いっしん
一心で

ぬす
盗みをして悪わるいことを
していたんだ

でも俺おれは
そのせいで
セーレを
ひとり
一人にさせた



かまってほしかったんだよな…寂さびしい思おもいさせて…ごめん



だから冗談じょうだんはやめて帰かえろう…



セーレ…



お兄にいちゃん…



お前は本当…



バカ
だなあ!



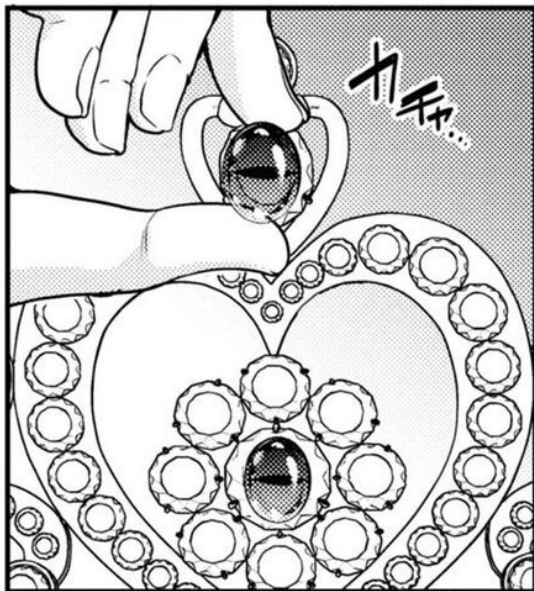
わたしは老朽化したかつての身体を捨て人間の少女にとりついた

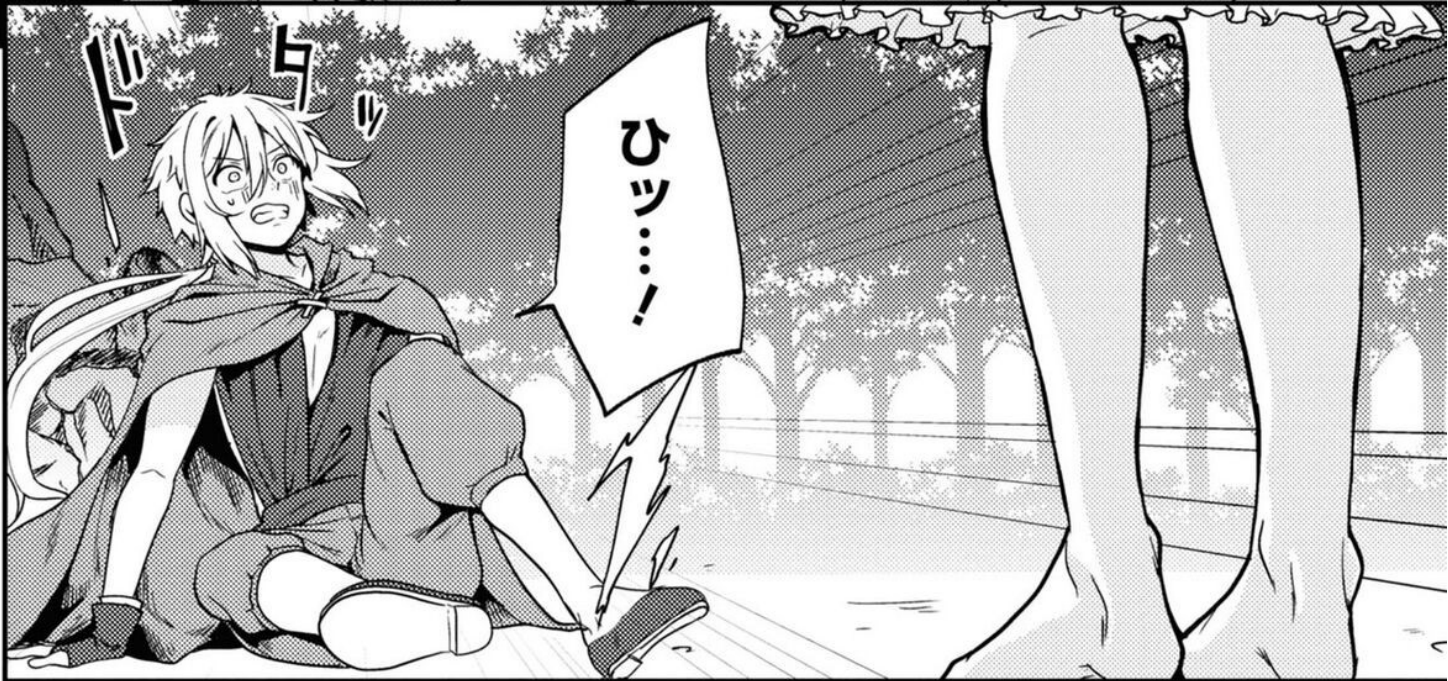
だが私の正体に気づいたお前の両親に捕まった

私を無理やり押さえつけ力を封印されたが私の意識までは封印できなかつた



パーティ追放された俺が裏切った
仲間に復讐するアンソロジーコミック③







でもそれは
 偶然俺らが盗んだ秘宝
 それにあの二人が
 提案した：

秘宝を盗むよう
 あの二人を
 仕向けたのは私だ



お前が盗賊稼業を
 始めるよう
 誘導したのも私

思い通りに
 動いてくれたよ



仲間を殺すのは
 予想外だったかな

嘘だ…俺は…
お前を本当の
妹のように…

ボロボロ

うう…
うぐうう…

ガク

あ…

カニ

少しおとなしく
してもらおうか

カイリ…!?

急所は外れてた
みたいだね…

世界中の財宝が手に入る
約束がパーになる
ところだったよ

こいつら
手を組んで…ッ

ね？
サタン様♥

なんせ 聖液が
必要だからな

安心しろ
まだお前を
殺しはしない



解呪には
封印した術者の
聖液が必要だが

息子
お前で
代用する

や…やめろ
お願いだ…

ほら 大好きな
妹とセックスだ
しっかり見ておきな





何^{なに}?
わからないか?
この音^{おと}を聞いても



どうだ
わかるか?
全部^{ぜんぶ}入^{はい}ったのが

言う...な...



どうした?
妹^{いもうと}に犯^{おか}されて
感^{かん}じてるのか?

残^{のこ}らず
聖^{せい}液^{えき}を出^だせよ
この



変^{へん}態^{たい}野^や郎^{ろう}

ち...
ちが...ッ!



お前まえに何なにが
できる

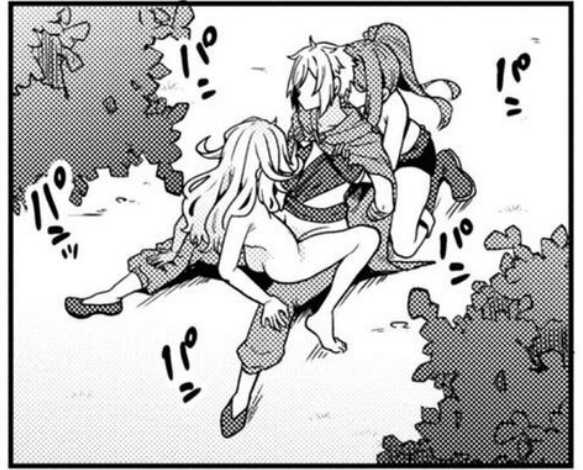
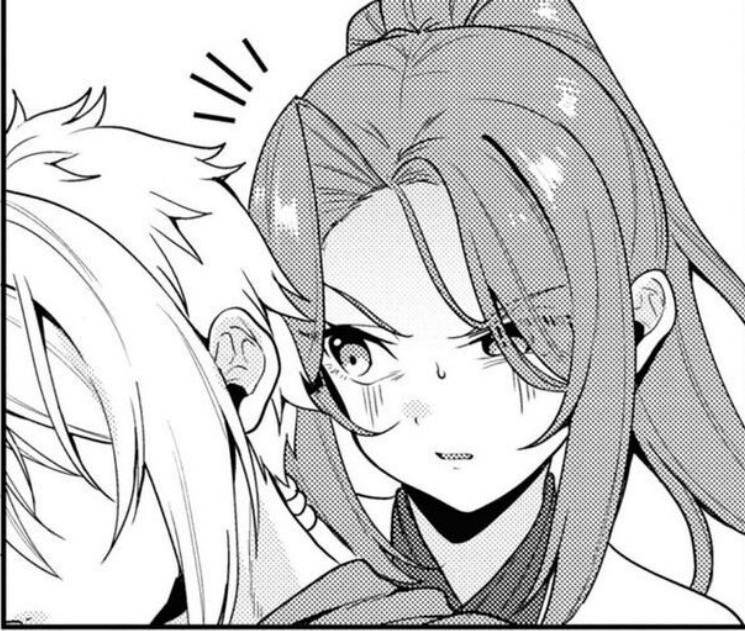


お前まえを封印ふういんする
この俺おれの
封印ふういんの呪文じゅもんで…ッ



ひだりて
左手まへをなくした
お前まえの魔力まりよくで私わたしを
封印ふういんできるものか





ソメイユ
エテルネル



すごいじゃないか
こんな強い呪文も
使えるなんて！

えへへ！
すごいでしょ！



俺
お父さんたちみたいにな
るんだ！
すごい退魔師に
なるんだ！



クライドなら
絶対になれる

そうだ…
俺は



がま...ん...ッ

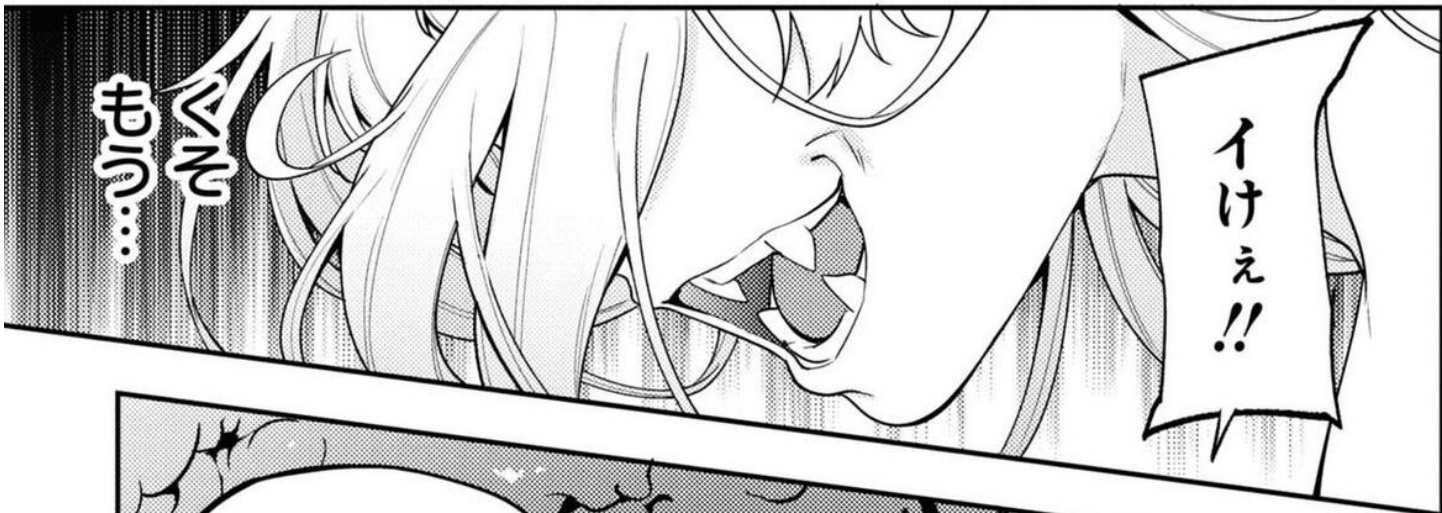


もう限界か！ほらッ
私の中になっぶり
注ぐがよい！

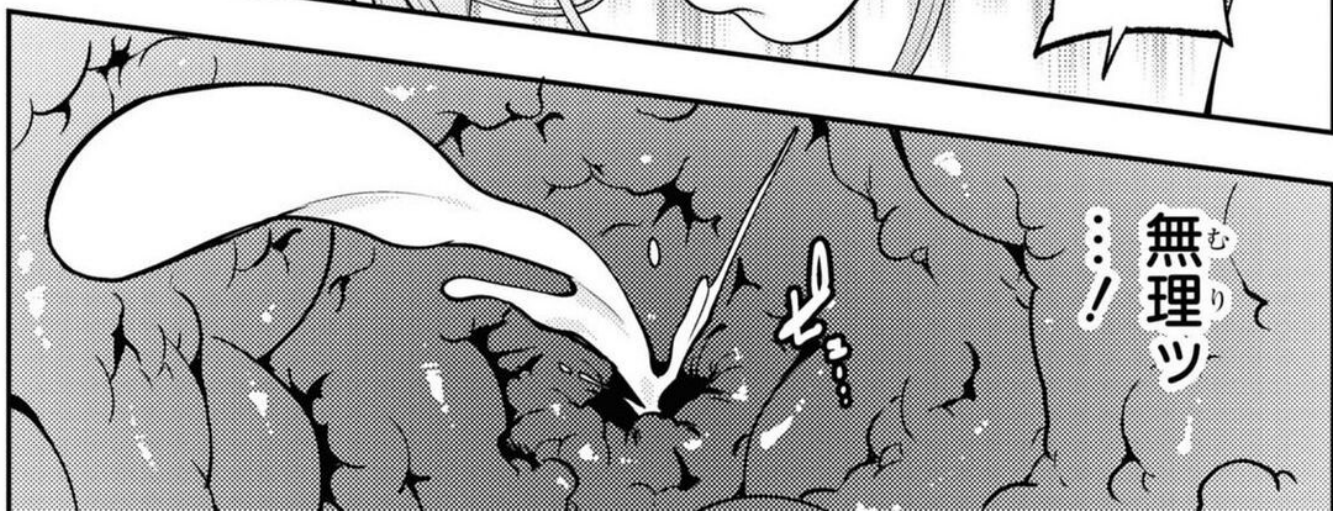
我慢だ...



う...ぐ...



いけえ!!



無理ッ



ついに…ついに
私の中に！
聖液が染みわたる！

これで私の体が…
力が蘇るぞお！

俺は…
世界をも…っ

何も
守れなかった

ははは

あはは





なぜだ…！
退魔師の…

お前は
まだわからない
のか…



おれ
俺の聖液では
代用できない



なるほど…
そういうことか



お前は俺が
微弱な魔力を使えるから
勘違いしていたようだが

ひだりうで
左腕を切られたとき
退魔師の力も完全に
失っている

あのとき俺の親を
殺したのは
失敗だったな





おれは
お前を
封印
できない
……なら



おれの
俺に乗り移れ
サタン！

それでセーレを
元に戻してやる！



うるさい！
俺は絶対に
セーレを



力を封印
されてるのだ！
できるなら始めから
やっている！
カイリ！
こいつを殺せ！



あああああ
あああああ



あんたもサタンに
振り回されて
大変だったね



あーあせつかく手を
貸したのに復活
できないなんてね…

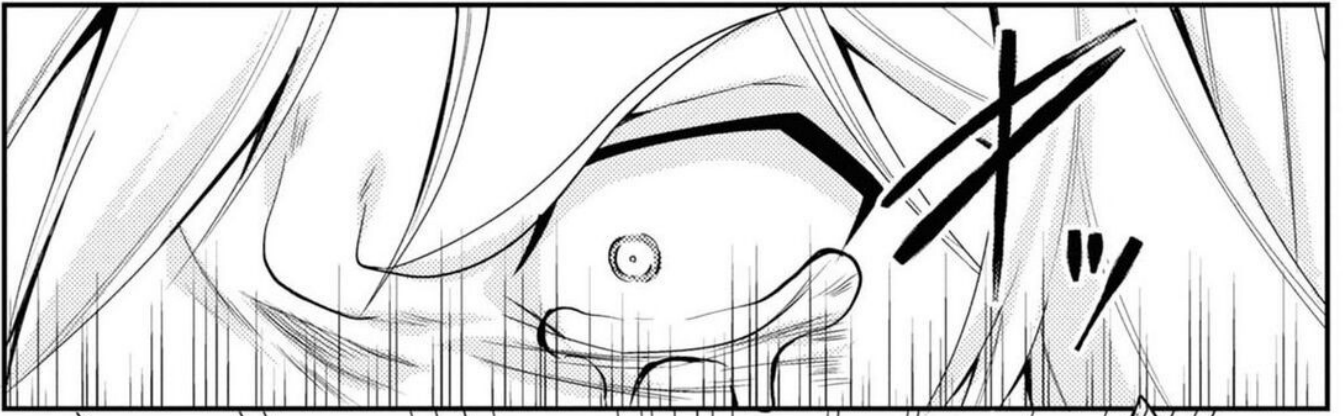
セーレ…
セーレ

俺おれから：
俺おれから仲間なかまも：
家族かぞくも奪うばいやがって

はあ？
あいつはサタンだよ
あんたも私わたしも
被害ひがい者しやだろ

無理むりに決きまってるだろ
目めを覚おぼませ！

今いままでの妹いもうとに
戻もどせたかも
しれないだろ！





これから罪人
カイリの
死刑を執行する



ああ今日
ヤバイ奴が
処刑されるって
聞いたぞ

なになに？
この人混み

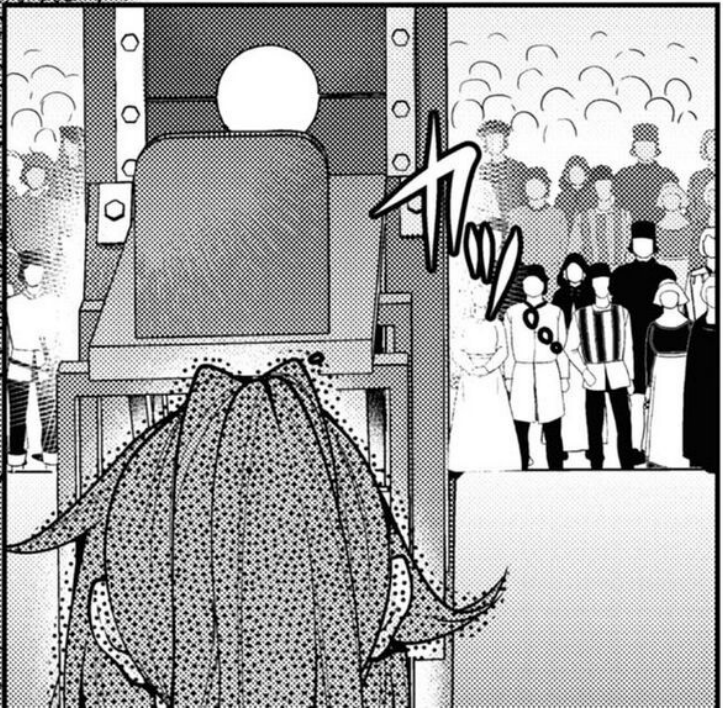
女の子
刺したって
やつか？



しかも殺したの
一人じゃない
らしいよ

確か
名前は

あ来た
あの人だ



なんか殺した相手に
抵抗されて舌を
切られたらしいよ



裁きの
鉄槌を

うああああ!



ああ…神よ

この
外道な罪人に



今日はいい
天気だな

END

